



日本で暮らす外国にルーツを持つ子どもたち。その子どもたちが日本での生活に慣れるよう日本語母語指導員として支援してきた竹内クリスティーナさん(以下、クリスさん)は、「同じ子どもでも、自分の気持ちを日本語でしか表現できないときと、母語でしか表現できないときがあります。指導員と母語で話をするすることで、思っていること、感じていることを子どもが自分の中で整理でき、解決する方法が見つかることもあります」と話します。



▲クリスさん(左)が10年前の教え子の橋本さん(右)と再会

そして、子ども、学校、保護者間のコミュニケーションを手助けすることでお互いの距離を縮め、情報の格差をなくすことも指導員の大きな役割だと言います。

また、子どもたちは、学習レベルや学年によって必要とされるサポートが変わることから、一人一人に合わせた指導をしていくが必要になるそうです。

クリスさんは、指導員の立場を離れた今でも、子どもたちが保護者や先生方に支えられながら成長し、外国人としての知識、能力、経験などを生かして、自分らしく日本社会にも貢献できる幸せな大人になってくれることを願っています。

料金受取人払郵便

大府郵便局
承認

747

差出有効期限
平成31年4月30日まで
(切手を貼らずに
お出してください)

郵便はがき

4 7 4 8 7 9 0

〈受取人〉
大府市役所
広報広聴課 行



広報おおぶ「みんなの声」専用はがき

年齢 / 歳 性別 / 男・女

広報おおぶの今後の編集や企画に生かしていきたいと思っています。
ご意見をお聞かせください。

広報広聴課 ☎(45)6214

「みんなの声」使い方

- 1 広報紙から切り取ってください。
- 2 アンケート欄に記入してください。
- 3 半分に折り内側全面をのり付けてください。
- 4 ポストに投函してください。

Q1 今回の広報おおぶで、文字・色・構成などについて、見やすいと思った記事、見にくいと思った記事とその理由をお聞かせください。(下表の番号を記入してください。複数回答可)

見やすい() 見にくい()

理由

Q2 今回の広報おおぶで、面白い・役に立った記事、そうでなかった記事とその理由をお聞かせください。(下表の番号を記入してください。複数回答可)

面白い・役に立った()
そうでなかった()

理由

Q3 今後取り上げてほしい企画や広報おおぶへのご意見・ご要望をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

1147

【この号の内容】 ①マンガ広報 ②特集「妊娠・出産・子育てに関する不安や悩み、「おおぶ妊産婦相談室」にご相談ください」 ③夏休み特集 ④市政NEWS ⑤情報パック ⑥Ellen's Corner ⑦金婚カンコン ⑧みんなにごあいさつ ⑨夢キラリ人 ⑩その他

夫婦仲には笑顔が不可欠 これからも互いに感謝し笑い合いたい



鈴木幸好さん・房子さん

(75歳・74歳、横根町)

挙式：昭和42年10月8日

(寄り添い50年)

◆若いころは何をしていた？

【幸好】自動車メーカーで整備工一筋だったけど、実家が有松絞りの染物屋をしていた頃は、お母さんとその手伝いをしていた時期もあります。

◆普段の過ごし方は？

【幸好】趣味の釣り、ゴルフ、野菜の栽培などの他、横根藤井神社の氏子やシルバー人材センターで広報おおぶの配達もやっているよ。

【房子】私は近所のお友達とお茶会をします。天気の良い日は自宅に招いたりね。

◆これまでの思い出は？

【幸好】私の兄弟夫婦「鈴木兄弟会」で毎年、福井県の三方五湖に旅行しています。毎回同じ所なのは、好きな釣りができるし魚がうまいから(笑)。

【房子】車で四国八十八カ所巡りしたこともいい思い出。ご飯はほとんどコンビニで、寝るのも車内で1週間かかったけど、楽しかったな。

◆円満の秘訣は？

【幸好】「笑いが一番」がモットー。冗談を言い合えるような関係がいいね。

【房子】お互いそれぞれ好きなことをする時間を作ることかな(笑)。

◆これからやりたいことは？

【幸好】現役時代は地元と関わりが薄く、定年後に老人クラブなどを通じて地元を知った感じ。だから、これからは地元に貢献していきたい。シルバーや氏子もその思いでやっているよ。

◆お互いに感謝することは？

【幸好】わがままを聞いてくれたり、家のこともよくやってくれるところ。

【房子】家庭のために一生懸命やってくれてありがとう。ご苦労さまです！

みんなに
ごあいさつ

3歳以下のおおぶキッズをご紹介！

掲載希望の方は広報広聴課へご連絡ください。

広報広聴課 ☎(45)6214



いりま
鷹羽 要真さん

平成26年12月1日生まれ
 正悟さん(父) 早美さん(母)

我が家の末っ子、要真です。「もう大きいもん」と「まだ小さいもん」を使い分け、家族みんなに甘えるのが上手です☆ そんな要真も春から年少さん。毎日お料理のお手伝いもしてくれてママ大助かり！



きいち
広瀬 喜一さん(右)

平成28年10月25日生まれ
 友一さん(父) 千夏さん(母)

こんにちは！ じゃんけんはパー専門の喜一です。この日はあいち健康の森公園のながーい滑り台で遊んだよ。もう1回って何度もリクエストしたよ。パパ頑張ってる！ 次は噴水のある公園で水遊びしたいな。

広報おおぶの紙面を飾ってくださる方を大募集！

募集しているのは、「金婚カンコン」「みんなにごあいさつ」「表紙などの読者モデル」。掲載された方には、掲載した写真を、広報おおぶの表紙風に加工してプレゼント。記念に1枚いかがですか？ 詳細は市ホームページをご覧ください。

問い合わせ 広報広聴課 ☎(45)6214



市民みんなで潤いのあるまちをつくりたい 大府緑化推進研究会(通称:緑花の会)

5月、花と緑の愛護に特に著しい功績のあった民間団体に対し贈られる、第29回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞した大府緑化推進研究会(以下、緑花の会)。会長の鈴置史男さん(左から3人目)は「長年地道に続けてきたことを評価していただいた。基礎を築いてくれた先輩たちに感謝したい」と受賞の喜びを話します。

「緑を保護しながら市が発展できたら」という思いから有志が集まり平成14年に発足した緑花の会。月1回、二ツ池セレクトナや長根山ポケットパークで樹木の手入れ・除草・清掃のほか、固有種の保護にも力を入れています。

発足当初は、市から助成を受け、緑花活動を行い市民の目を楽しませていきましたが、近年は苗木の配布や植物の育て方講座を開催するなど、市民と一緒に活動できる形に変え、みんなが緑に愛着を持ち、その輪が広がります。年々活動に集まる方も増え、活動に手応えを感じます。この活動のやりがいについて

「四季が感じられるよう工夫して手入れを行った樹木を見た方から『きれいになったね』と声を掛けられたときや、市民の方に配布した苗木が立派に育ったのを見せてもらえたときに感じます」と鈴置さんは話します。

今回の受賞は、活動が報われると同時に、広く皆さんに伝えられることに喜びを感じます。

1つの苗木を植えるという小さな活動でも、それが実り、大きな木に育ち、やがてまちに潤いを与えるきっかけづくりにつながるため、緑花の会はこれからも市民とともに緑花活動を続けます。



現在開催中の、4年に1度の祭典「FIFAワールドカップ」。皆さんはご覧になっていますか? 必死に戦う各国代表を、筆者も毎晩睡魔と闘いながら観戦しています。本号が届くころには、日本の決勝トーナメント進出が決定していることを祈りながら、今日もテレビにかじりつきます。皆さんも、松木さんに負けないぐらいの暑苦しさで日本を応援しよう!! (相)